

(アンニョンハセヨ)
안녕하세요!
こんにちは



崔 龍浩 さん

チェ ヨンホ

韓国出身。就職のため生野へ来て25年。
表装店、印刷会社勤務を経て、現在はプラントエンジニアとして勤める。地方の現場への出張が多いが住まいはずっと生野。妻と娘2人の4人家族。

故郷はどんなまち？

ソウルの中区(チュング)。今は都会でマンションが多いけど、昔は平屋が多かったな。ソウルにいた頃は、ちょうど高度経済成長真ただ中。大きなスーパーマーケットが出来て来たけど、道端で露天商のおばちゃんもいたりして。おすすめの料理は豚足、太ももからの大きなかたまりをスライスして食べるんだ。

生野に来てどう？

人との出会いに感謝してる。偶然教会で知り合った同郷の方に、仕事を紹介してもらったり。そこで妻にも出会って。苦労もたくさんしたけど、たくさんの人に出会えたから今の暮らしがあるんだと思う。

家族みんな仲良しで、銭湯に行ったり、焼き鳥屋に行ったり。今も昔もずっと笑顔いっぱい家族に囲まれて楽しく暮らせているよ。



▲ 家族写真。
区内で妻が経営する韓国料理店にて。



(ハロー)
Hello!
こんにちは

Mohammed Seidu さん

モハメッド セイドウ

ガーナ共和国出身。3年前に来日。
1年半前に千葉から生野区に越してきて、現在、市内
の製造会社で勤務。

ガーナはどんな国？

チョコレートの原料のカカオ豆が有名ですよね？他にも、ダイヤモンド・金などの鉱物や原油が豊富に出るんです。僕が生まれ育ったのは首都のアクラで、海に面していて、とても大きな街。ガーナには70以上の言語があるから、小学校から授業は全部英語です。複数の言語を話せるのは、ガーナでは普通なんです。僕もフランス語などいくつか話せます。



ガーナ料理を教えてください！

僕が好きなのは「ジョロフライス」。肉と野菜とトマトスープで作る炊き込みご飯です。唐辛子を入れるから少し辛めかな。ちなみに、日本食では寿司が大好き。寿司ネタはどれもおいしい。



生野での暮らしはどうか？

電車の乗り換えで困っていると、声をかけてくれたり、行き方を教えてくれたり、みんな本当に優しいです。ゴミの落ちていないきれいなまち、親切な人たちがたくさんいるまち、ここが大好きです。これからもずっと日本で働いていきたいです。そのためにも、日本語はもっと話せるようにならないとね。



荊華さん

チン ホア

中国出身。料理人。1997年に来日。
生野で中華料理店「紫金城」を13年営む。

故郷はどんなところ？

中国の東北地方の瀋陽というところで、夏は30℃を超えるけど、冬はマイナスの世界。故郷では白菜が保存食で、漬物にして煮込んだり、焼いたり、いろんな調理法で食べるんですよ。母が「酸菜粉（サンツァイフェン）」という春雨と炒めた料理をよく作ってくれて、大好きだったな。お店にもこのメニューはあるんだけど、きっと母の味ね。

生野での暮らしはどう？

お店には中国、韓国、ベトナムとか、いろんな国の人に来てくれるんです。だから、メニューは全部写真付き。お客さんの「こんなの作って」って声に応えてたら、いつの間にか200種類を超えて、図鑑みたいなメニューになっちゃった。お店はとっても忙しいけど、お客さんにもスタッフにも囲まれながら、楽しく毎日を過ごしてます。



▲ 酸菜粉(サンツァイフェン)



Phan Thành Phát

さん

ファン タン ファット

ベトナム出身。大学院で生物の研究を続け、日本企業に研究員として就職、生野へ。
この11月で生野歴3年。

最初は敬語を覚えるのが大変でした。今では、先輩たちが使う関西弁もおもしろい！「せやろ」とか「でけへん」とか、学校では教えてくれなかったですね！

故郷はどんなところ？

ベトナム南部のホーチミン市です。ベトナム最大の商業都市で、日本企業もたくさんありますよ。道路びっしりにバイクが走っていて、観光客でもにぎやかなところです。数年前からタピオカミルクティーがすごく流行っていて、日本でも同じように流行っているからおもしろいなって思います。

好きな食べ物は？

ベトナムと言えば「フォー」が有名ですが、ぼくが好きなのは、白ご飯の上に焼き豚と目玉焼きを乗せた「コムタム」っていう料理です。料理するのは大好きで、いろんな調味料を混ぜて作るんです。新しい料理を開発している気分。仕事での研究と一緒にとっても楽しい！ジャンルは無国籍！

生野の暮らしはどうか？

日本の神社やお寺、お祭りの伝統文化が好きで、ベトナムにいるときからネットでいろいろ調べていました。間近に見た生野のだんじりは迫力がすごかったです！
仕事帰りに先輩に大好きなラーメンを食べに連れて行ってもらったり、休日には公園を散歩したり。毎日がとっても楽しいです。



▲ コムタム



(ワナッカム)
வணக்கம்.
こんにちは

Sindhu Thangavel さん

シンドウサンガベル

インド出身。区内製薬会社研究員。インドで大学を卒業後、シンガポール、筑波の大学院で研究を続け、東京を経て3年前に生野区へ。

故郷のまちはどんなところ？

インドって暑いイメージないですか？それは北インドで、私の故郷のベンガルールは、南インドの少し標高が高いところであって、一年中気温差がなくすごしやすいんですよ。あと世界のIT企業の支社が集まるシリコンバレーみたいなのところでもあります。それに、緑にあふれていて街全体が公園みたいなんです。最近ではインドで仕事をリタイヤした人が、その後の人生をゆったりと暮らしたい街って言われています。

生野でのくらしはどう？

私の人生はアドベンチャー！冒険が大好きなんです。いろんな国のいろんな街に住んだけど、それも冒険が好きだから。日本の文化はインドと全然違うからとても楽しい。生野は都会的じゃなくて、人との距離が近いのが好き。朝、歩いていると、まちのおじさんやおばさんが、「行ってらっしゃい」「今から仕事？」「がんばってね」って。気持ちが明るくなります。



▲ 実は南インドには、たこ焼きにそっくりな「パニヤラム」って料理があります。カレーソースをかけて食べるんですよ。



(ボンジュール)
Bonjour!
こんにちは

Chloé Geoffroy さん

クロエ・ジョフロワ

フランス在学中に京都の大学へ留学。
卒業後、日本のゲーム制作会社に就職し翻訳を担当。

フランスのどこから？

フランスのボルドーです。ボルドーってワインで有名でしょ。このまちの大学にはワイン造りの専攻もあって、いろんな国の人々が勉強しに来るんです。古い建物がたくさん残る美しい街で、近くにはブドウ畑が一面に広がっています。



▲ カヌレもボルドーの伝統菓子なんですよ。

日本語がすごく上手ですね？

会社には、いろんな国の人々が働いていて、フランス語、英語、日本語を使いわけています。日本語は大学からずっと勉強していて、やっぱり話すことが一番の練習になるかな。フランス語の中には、日本語の音が全部あったから、日本語は勉強しやすかったです。でも居酒屋でのアルバイトは、みんな早口だしホントに大変でかなり鍛えられました(笑)。大学を卒業して、はじめて会社で働くのが日本ってすごくエキサイティング。これからもここでいろんなことにチャレンジしていきたいな。